



平成 27 年 12 月 8 日

都道府県病院薬剤師会会長 殿

一般社団法人 日本病院薬剤師会
副会長(将来計画委員会担当)
佐藤 博

将来計画委員会からのアンケート調査のお願い

平素より日本病院薬剤師会活動にご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、本会は、将来計画委員会において、病院薬剤師の将来に向けた在り方を含め日本病院薬剤師会の今後について鋭意検討を進めて参りました。

特に、2025 年に向けた地域包括ケアシステムの構築など、従来の病院完結型医療から地域完結型医療への転換が求められている現在、日本病院薬剤師会としての対応を会員の皆様と考え、築き上げて参りたいと思っております。

先ずその手始めとして、将来計画委員会からいくつかご提案をさせていただき、それらについてのご意見等を会員の皆様から賜りたいと考えております。

また、将来計画委員会としては、今後の病院薬剤師の将来ビジョン作成等を視野に入れてその方向性を模索しておりますので、同時に会員の皆様から新たにご提案やご意見を当委員会にお寄せいただければ幸いです。宜しく願い申し上げます。

ご意見等につきましては、平成 28 年 1 月 18 日(月)までに日本病院薬剤師会事務局総務課にメール (somu@jshp.or.jp) にて、お寄せいただければ幸いです。

慌ただしい年末年始の折、ご負担をおかけ致しますが、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

<照会先>

一般社団法人 日本病院薬剤師会
事務局総務課 (03)3406-0485

将来計画委員会からの提案（草案）

1) 優れたゼネラリストの養成

- ・ 病院完結型の医療から、地域完結型の医療への転換が図られているなか、従来の病院完結型医療の象徴であるスペシャリスト（専門薬剤師等）の養成に加えて、これからの医療提供体制に対応できる総合臨床薬剤師（ホスピタリストの薬剤師）が必要である。

2) 日本病院薬剤師会学術大会の創設

- ・ 各地区開催のブロック学術大会等の全国版の位置付けである。
- ・ 日病薬役員および委員等が一堂に会し、各委員会を開催する場とするとともに、委員会が中心となってシンポジウムを企画開催し、日病薬病院薬局協議会／学術フォーラムを同時開催する。また、診療報酬改定等の説明会や日病薬主催の研修会等の同時開催、会員による学術研究報告等の発表の場を提供する。

3) 日本病院薬剤師会の英語名称（**Japanese Society of Hospital Pharmacists**）の検討

- ・ 高度急性期から在宅までのシームレスな医療提供体制の構築に向けて病床機能の分化、強化と連携が進められるなかで、病院薬剤師に求められる機能も大きく拡大すると考えられる。ヘルスシステムのなかでの位置付けを視野に入れた団体として「**Japanese Society of Health-System Pharmacists**」への改称を検討してはどうか。

4) 地域完結型医療への対応を総合的に検討する特別委員会の設置

- ・ 2025年、2035年に向けた医療提供体制（高度急性期、急性期、回復期、慢性期等）の改革に対応した本会の委員会の在り方を含め、病院薬剤師の機能を議論する場が必要である。